

## 新年度のご挨拶



平成 28 年 4 月 1 日付けで理事長に就任しました茂と申します。

皆様方には、日頃から当公社の運営や各種事業の推進に格段の御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、本県の基幹産業であります農業は、担い手の減少や高齢化、耕作放棄地の発生等に加え、TPPの問題など、多くの課題に直面しております。

このような中で、当公社は、昭和 35 年の発足以来 50 年以上にわたり農用地の基盤整備や農地の担い手への集積、担い手の育成・確保、畜産経営基盤の強化、6次産業化など、農業・農村を巡る環境の変化に対応しながら、時代に即応した各種

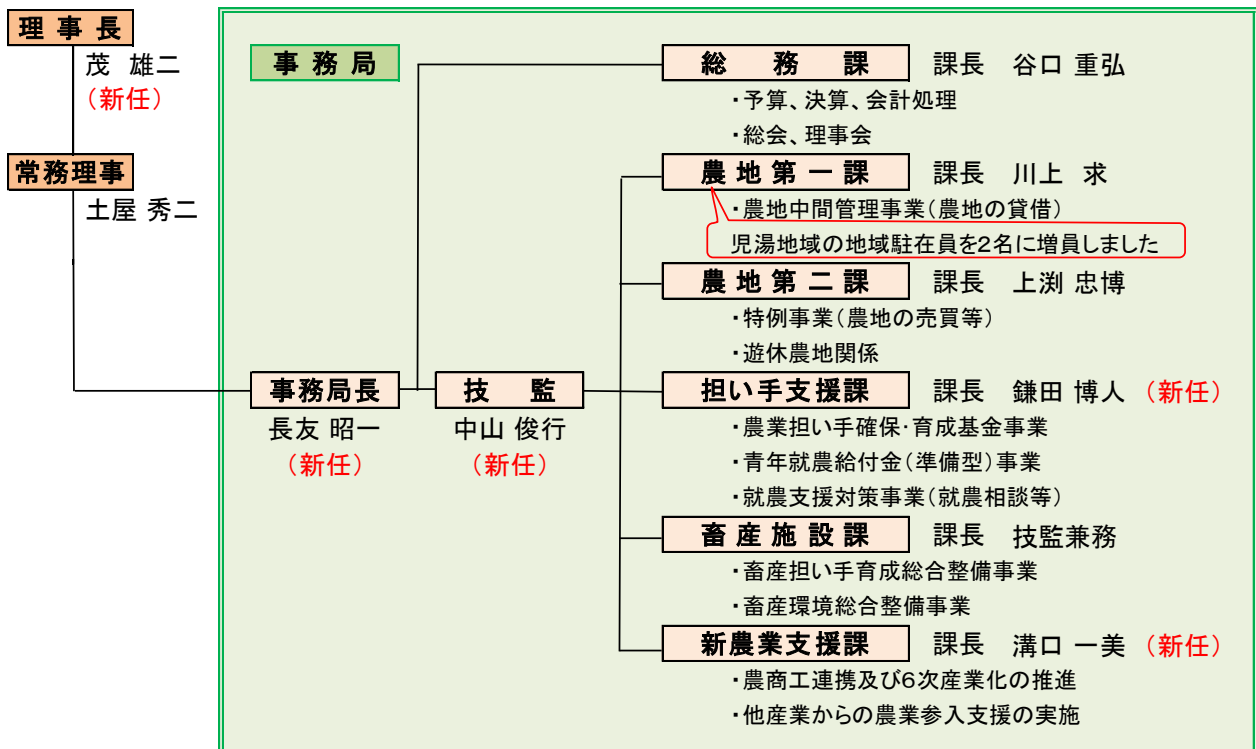
事業を展開し、本県農業の振興に寄与して参りました。

特に今年度は、当公社が県から農地中間管理機構の指定を受け、担い手への農地集積等を強力に推進する農地中間管理事業が始まって 3 年目を迎えることから、機構の真価が問われる年だと認識しております。このため、これまで以上に県や市町村、JAをはじめとする農業関係団体等と連携を密にしながら一体的に事業に取り組み、農業者の方々の御理解と御賛同を頂きたいと考えておりますので、皆様の御支援をよろしくお願い致します。また、この他の各種事業につきましても、公益社団法人としての使命や役割を十分認識し、役員一丸となって事業を推進して参りますので、引き続き御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

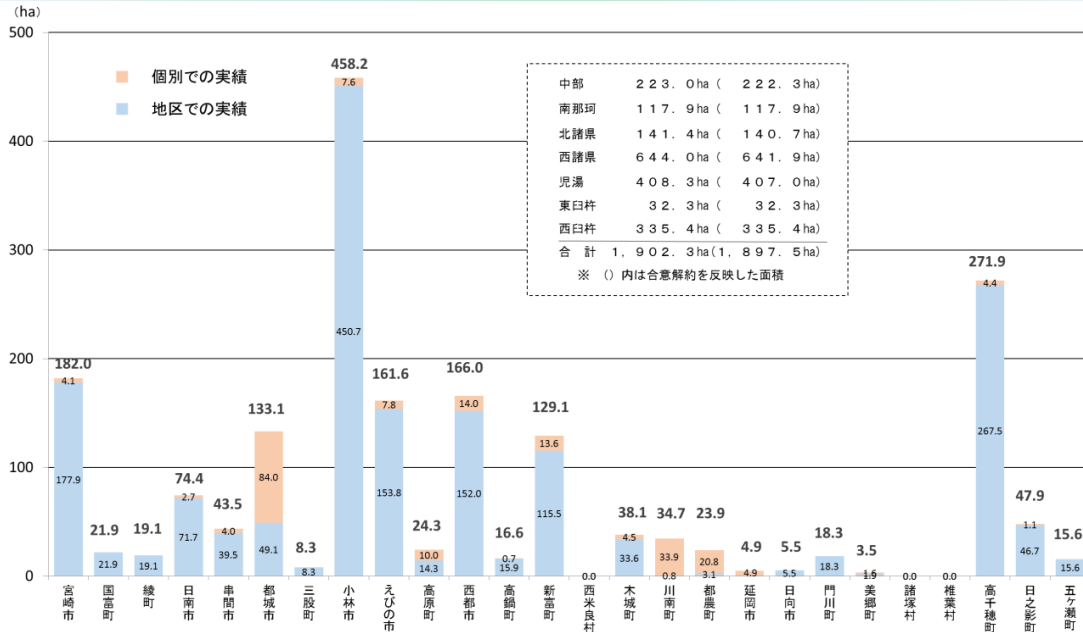
宮崎県農業振興公社 理事長 <sup>しげる</sup>茂 雄二

## 公社の組織体制

平成28年4月1日現在



## 農地中間管理事業について



### 平成 27 年度農地中間管理事業市町村別実績

平成 27 年度は、各市町村における重点実施地区 (176 力所) を中心とした事業推進や、機構地域駐在員の配置、テレビ CM・新聞広告等での PR などにより、農地の貸付実績が前年度の約 5 倍の 1,902.3 ヘクタールとなりました。本年度も毎月、農地中間管理権取得及び農地利用配分計画に関する審査会を行っており、5 月までに、116 ヘクタールの審査を行いました。

また、農地等借受希望者の募集も継続して行っており、4 月は 7 市町村において延べ 49 経営体、99.1 ヘクタールの申し込みがありました。引き続き募集しておりますので、詳しくは農地中間管理機構ホームページをご覧ください。

【農地第一課】

## 農地の売り出しについて



平成 25 年度から進められてきた口蹄疫埋却地の再生整備工事が完了し、従前農地と劣らない農地へと生まれ変わりました。この内、公社所有農地は現在売り出しています。価格、所在地等は【農地第二課】にお問い合わせください。

### 売り出し農地

埋却地			その他
高鍋町 持田	川南町	都農町	宮崎市 清武町船引
1 箇所	17 箇所	12 箇所	1 箇所
0.70ha	6.98ha	5.43ha	0.67ha

公社が農地を買入れ、受け手農家に 5 年間、一時的に貸付け、資金力や営農技術が確立され、農業経営が安定した段階で売渡す事業などもあります。農地売買のことは、農地第二課、最寄りの農業委員会へ御相談下さい。

## 6次産業化地域相談会にお気軽に相談下さい！

当公社（6次産業化サポートセンター）では、県内の農業改良普及センターと連携して、毎月1回「地域相談会」を開催し、地域に密着した相談対応を行っています。農林漁業者や法人・団体の皆様、「6次産業化って何？」「どんな支援制度があるの？」6次産業化に関わることなら何でもお気軽に御相談ください。

なお、相談は予約制となっておりますので、相談希望の方は事前に各普及センターにお問い合わせください。 【新農業支援課】



### 地域相談会の開催日程

普及センター	毎月	対象市町村	電話連絡先
中部	第1水曜日	宮崎市・国富町・綾町	(0985) 30-6121
南那珂	第2水曜日	日南市・串間市	(0987) 21-9550
北諸県	第2水曜日	都城市・三股町	(0986) 38-1554
西諸県	第1水曜日	小林市・えびの市・高原町	(0984) 23-5105
児湯	第1水曜日	西都市・高鍋町・新富町・西米良村・木城町・川南町・都農町	(0983) 43-2311
東臼杵南部	第4水曜日	日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村	(0982) 68-3100
東臼杵北部	第2水曜日	延岡市	(0982) 32-3216
西臼杵	第4水曜日	高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町	(0982) 72-2158

## 平成28年度 宮崎県農業担い手確保・育成基金事業について

平成28年度についても、昨年同様に基金事業を実施しています。特に、御活用が多い初期経営安定事業の概要についてお知らせいたします。詳しくは、【担い手支援課】にお問い合わせください。

事業	対象者	助成額等
<b>農地利用促進事業</b> 新規参入者が利用権を設定した農地の借地料を助成します。	新規参入者	借地料の1/2以内 (施設作物 30a、露地作物 1haを限度とする) 経営開始後3年間を限度とする
<b>青年等就農支援資金保証料補てん事業</b> 認定新規就農者に対して、青年等就農資金借入れに伴う保証料を助成します。	認定新規就農者	保証料 30万円以内/人 (事業費の10/10、原則精算払)
<b>新規就農者定着支援リース事業</b> 認定新規就農者や口蹄疫から復興し、規模拡大を図ろうとする農業青年に対して、農畜産用施設・機械等のリース料を助成します。	認定新規就農者 農業青年(SAP会員、 農協青年組織協議会会員)	施設リース(借地料含む) : 10万円以内/10a 機械リース : 10万円以内/1台 どちらも事業費の1/2以内 経営開始・拡大して3年間を限度とする



## これからの行事予定

日時	行事	会場	問合せ
6月27日(月)	平成28年度定時社員総会	県電ホール	総務課
7月16日(土)	新・農業人フェア 東京会場	東京国際フォーラム	担い手支援課
8月 2日(火)～11月11日(金)	みやざき6次産業化チャレンジ塾	JA・AZMほか	新農業支援課
9月10日(土)	新・農業人フェア 東京会場	池袋サンシャインシティ	担い手支援課

### 平成 28 年度「みやざき 6 次産業化チャレンジ塾」を開催します

今年も6次産業化を目指す農林漁業者や支援する方を対象に、「みやざき6次産業化チャレンジ塾」を開催します。チャレンジ塾では、農林水産物を加工・販売するために不可欠な知識と販路開拓のためのマーケティングや事業計画作成などを幅広く学びます。6次産業化に取り組みたい方、興味のある方のチャレンジをお待ちしております。詳細は公社HPで御確認ください。【新農業支援課】

- 1 開催期間 8月2日(火)から11月11日(金)まで(原則毎週1回程度)
- 2 開催場所 宮崎市内(宮崎観光ホテル、JA・AZMホール、宮崎県食品開発センター)ほか
- 3 応募締切 7月11日(月) ※必着

### 日南市 5 団地の施設が完成

当公社では、平成26年度から畜産担い手育成総合整備事業により南那珂・北諸県地区の事業を実施しています。

この事業は、水田地帯等における新たな担い手の育成と農地の有効利用を図るため、肉用牛経営への新規参加者を支援しつつ、飼料基盤と農業用施設を一体的に整備する事を目的とした事業です。

このほど、日南市南郷町榎原で整備を行ってきました、日南市5団地の施設が完成しました。

事業参加者の方は、施設完成後、平成28年4月26日に開催された南那珂地区4月期子牛品評会において、優等主席(チャンピオン)を受賞されました。

今後も今回の事業で整備した施設を有効活用していただき、さらなる御活躍を期待しています。

【畜産施設課】



施設外観



哺乳牛舎内部

#### 施設概要

施設用地造成工事	0.2ha
建築工事	
繁殖牛舎	1棟
育成牛舎	1棟
哺乳牛舎	1棟
堆肥舎	2棟

豊かな農業経営・新しい未来のために

発行 公益社団法人宮崎県農業振興公社  
〒880-0913 宮崎市恒久1丁目7番地14  
電話 0985(51)2011 FAX0985(51)8006